

第 62 回学院祭用 鉄研コラム①【部誌に登場する車両たち】

ここでは、この部誌に登場する主な車両を系式別に簡単に紹介します。本文中では車両の概要には触れていない場合もありますので、こちらをご参照ください。また、部誌では直接触れられてはおりませんが、東京近郊を走る JR の主な列車についても一部掲載しました。

・ 185 系



特急から普通まで使える便利な車両を目指して開発された車両です。最近では国鉄特急色、緑ストライプ、湘南色などといった多彩な塗装を見ることができます。「踊り子」や「草津」「あかぎ」などで営業運転を行っています。

・ 211 系



高崎線、宇都宮線で見ることのできる、1985年にデビューした近郊型車両です。東海道線ではすでに引退し、高崎線、宇都宮線も E233 系によって順次置き換えが進み、徐々に数を減らしています。

・ 205 系



1985年に登場した通勤型車両で、関東の JR 線で良く見ることのできる系式です。現在は埼京線や横浜線、南武線などで活躍しています。また、かつて京葉線には変わった前面を持つ編成がいました。

・ 209 系



1993年に登場した、寿命半分、コスト半分がコンセプトの通勤形車両です。京浜東北線に集中導入されましたが、全てが撤退してしまい、今では千葉地区、南武線、八高線等で見ることが出来ます。

・ E231 系



2000年に登場した新世代車両。老朽化の進んでいた 103 系、113 系、115 系等を置き換えました。山手線や常磐線、総武線緩行や湘南新宿ラインなどで見ることが出来ます。

・ E233 系



現在も増備が進んでいる JR 東日本の新型車両です。中央線、京浜東北線、東海道線、京葉線などで活躍しているほか、埼京線や横浜線への導入も発表され、ますます JR 東日本の顔となっていくことでしょう。

・ 113・115 系



国鉄近郊型車両のスタンダードとして、各地で活躍していた車両でしたが、数を減らし続けており、千葉地区からは 2011 年に撤退しました。現在では高崎地区や新潟地区、長野地区などで見ることが出来ます。